

麻 薬 事 故 届			
免 許 証 の 番 号 (記号を含めた番号を記入)		②	
① 麻第 1234 号		免 許 年 月 日 (有効期間開始日を記入) 令和〇年〇月〇日	
免 許 の 種 類 麻薬管理者			
麻 薬 業 務 所	所 在 地	〇〇市△△	
	名 称	広島県立やくむ病院	
③		品 名 数 量	
事 故 が 生 じ た 麻 薬		フェントステープ 1 mg	1 枚
事 故 発 生 の 状 況 (事故発生年月日 場所・事故の種類)		令和〇年〇月〇日、調剤室内に置いていた〇〇が所在不明となった。 (次の事項も記入すること。 (1) 事故発生年月日には、可能な限り発生した（と思われる）時間を含める。 (2) 事故の発生状況については、5 W 1 H 式に詳しく記入させる。(別紙による記入可。) (3) 回収状況	
上記のとおり、事故が発生したので届け出ます。 令和〇年 〇月 〇日 住 所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地) ④ 〇〇市〇〇〇〇 氏 名 (法人にあつては、名称) 県庁 太郎 ※押印不要 広島県知事様 (保健所設置市及び 県保健所管轄での盗取、所在不明、強奪、脅取、詐欺等の場合) 広島県〇〇保健所長様			

チェックリスト

① 麻薬営業者・麻薬管理者(※) (麻薬管理者のいない施設は麻薬施用者)・麻薬研究者の正しい免許証の番号、免許年月日、免許の種類が書いてある。 ※事故を起こした医師の施用者免許ではないので注意。 「麻 第〇〇〇〇〇〇号」、「西東 第〇〇〇〇〇〇号」のように免許証の正しい記号が書いてあることを確認する。	
② 免許年月日は免許の有効期間の最初の日が書いてある。 免許発行日ではないため、注意する。 (令和〇年 1 2 月〇日は間違いの可能性が高い。)	令和 4 年 12 月 24 日 広島県知事 湯崎英彦 知事印 有効期間 令和 5 年 1 月 1 日 令和 7 年 12 月 31 日 ←免許証のこの年月日を書く。
③ 事故が生じた麻薬の正しい品名・数量が書いてある。 減失の場合、回収不能だった量を計算して記入する。 また、点滴の流出等の場合は、麻薬換算した量を mL 単位で記入する。 ただし、アンプル製剤の破損事故の場合、一部回収できたとしても事故の数量は「1 A」のようにアンプル単位となるため注意する（トレイの上で全量回収できた場合は、麻薬廃棄届となる）。	
④ 正しい届出者の住所・氏名が書いてある。 届出者は①で記入した麻薬営業者・麻薬管理者(麻薬管理者のいない施設は麻薬施用者)・麻薬研究者となっているか確認する。 法人たる開設者の代表者や医療機関等の院長ではないので、注意する。	麻 第 1234 号 麻薬管理者免許証 所在地 〇〇市△△ 麻薬業務所 名称 広島県立やくむ病院 麻薬施用者又は麻薬研究者 所在地 ***** にあつては、従として診療又は研究に従事する麻薬診療施設又は麻薬研究施設 名称 ***** 住所 〇〇市〇〇〇〇 氏名 県庁 太郎 ←免許証のこの住所・氏名を書く。